

【ICDE2013勉強会】

R28: Skyline and Snapshot Query

担当：大島裕明(京都大学)

Skyline and Snapshot Query

[1] On Answering Why-not Questions in Reverse Skyline Queries

- ▶ Md. Saiful Islam (Swinburne Univ. of Technology)
- ▶ Rui Zhou (Swinburne Univ. Technology)
- ▶ Chengfei Liu (Swinburne Univ. Technology)

[2] Layered Processing of Skyline-Window-Join (SWJ) Queries using Iteration-Fabric

- ▶ Mithila Nagendra (Arizona State University)
- ▶ K. Selcuk Candan (Arizona State University)

[3] Efficient Snapshot Retrieval over Historical Graph Data

- ▶ Udayan Khurana (University of Maryland)
- ▶ Amol Deshpande (University of Maryland)
- ▶ 本資料中の図表の引用元はこれらの論文です

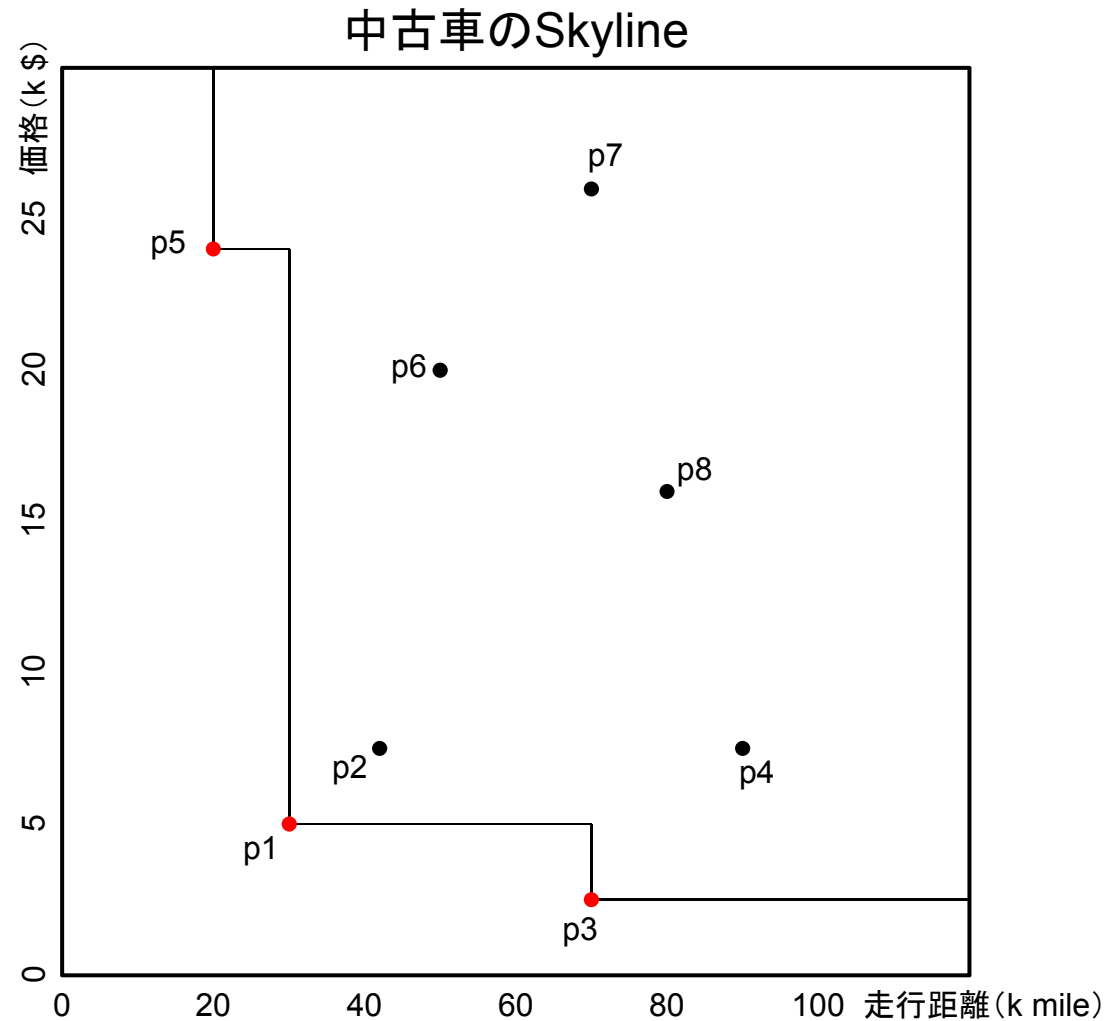
Skylineの概要

▶ Skyline

- ▶ Dominateされていない点の集合
- ▶ 右図の赤い点集合

▶ Dominated?

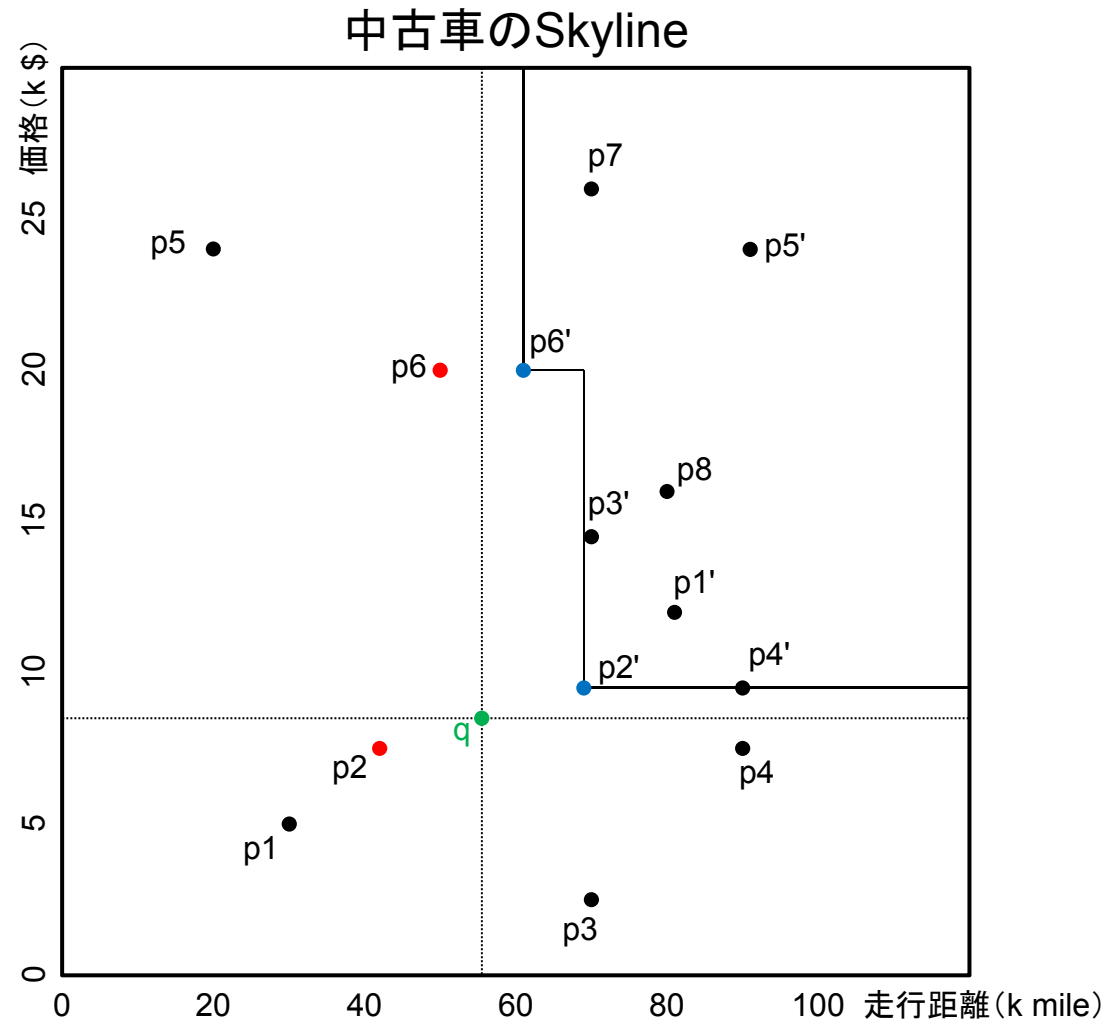
- ▶ p2 is dominated by p1
- ▶ p2はp1より、マジだめ
 - ▶ 値段は高い
 - ▶ 走行距離は長い
- ▶ p1とp3は互いに not dominate
 - ▶ 値段はp1が安い
 - ▶ 走行距離はp3が短い



Skylineの概要

▶ Dynamic Skyline

- ▶ クエリ q からの距離に基づくSkyline
- ▶ 右図の赤い点集合
- ▶ =右図の青い点集合
- ▶ 求め方
 - ▶ q を原点とする第一象限に全ての点をマッピング
 - ▶ その後、マッピングされた点のSkylineを取得



Skylineの概要

▶ Reverse Skyline

▶ 入力

- ▶ 点集合P
- ▶ 点集合C
- ▶ クエリq

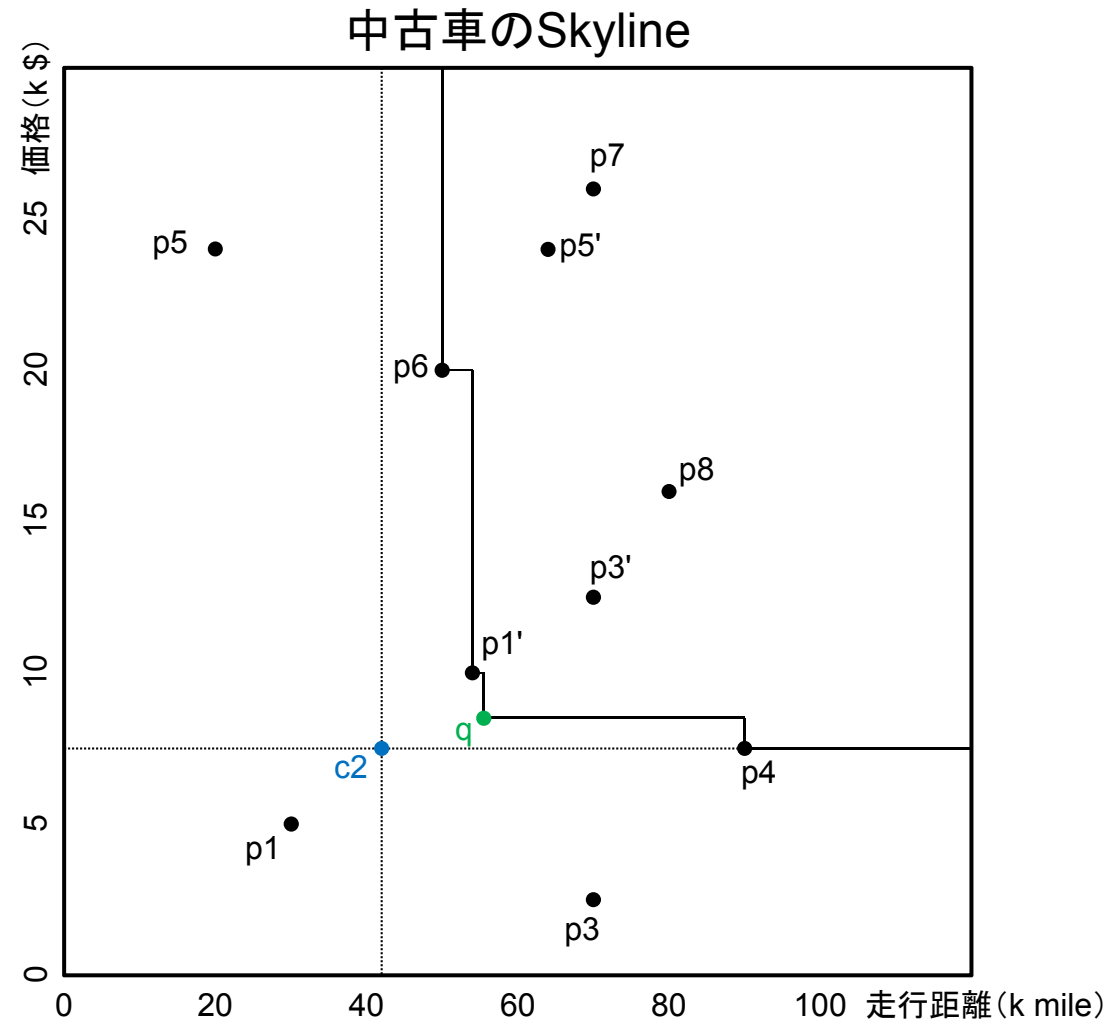
▶ 出力

- ▶ Cの部分集合
- ▶ $c \in C$ がReverse Skylineに含まれる

↓
cをクエリとして、
 $P \cup \{q\}$ を対象とした
Dynamic Skylineを求め
たらそこにqが含まれる

▶ 例

- ▶ $P = \{p1, p3, \dots, p8\}$
- ▶ $C = \{c2\}$
- ▶ Reverse Skyline = $\{c2\}$



Skylineの概要

▶ Dynamic Dominance Region (DDR)

▶ 入力

- ▶ 点集合P
- ▶ 点c

▶ DDR

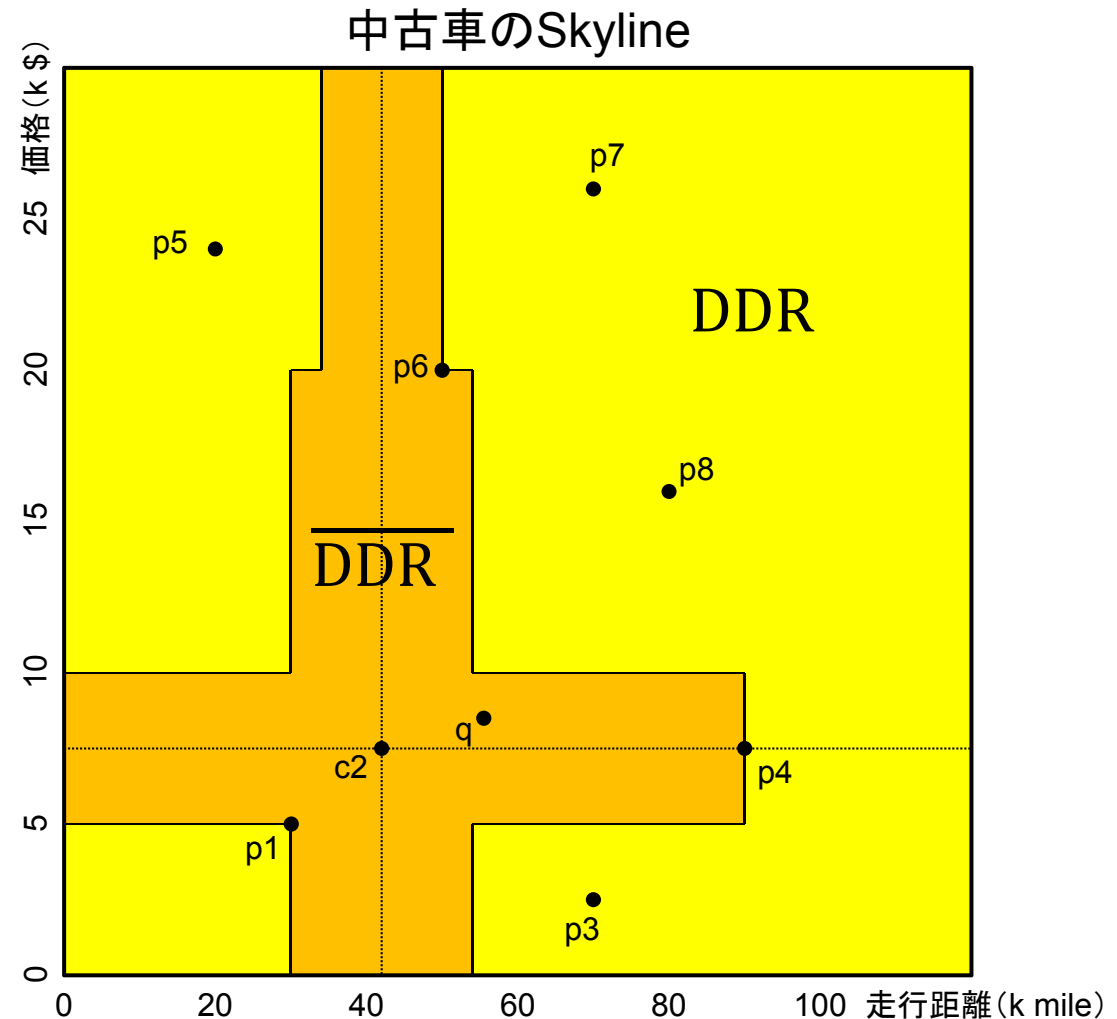
- ▶ cをクエリとしたとき、Dynamic Skylineのいずれかによってdominateされている領域

▶ $\overline{\text{DDR}}$

- ▶ DDRではない領域

▶ DDRと点q

- ▶ 適当な点qを考えたとき、それが $\overline{\text{DDR}}$ にあれば、点qはDynamic Skylineになる
- ▶ 点qにdominateされる領域は、DDRになる



Skylineの概要

▶ 手抜きReverse Skyline

▶ 入力

- ▶ 点集合P
- ▶ 点集合C
- ▶ クエリq

▶ window_query

- ▶ $c \in C$ を中心とし、qを頂点の1つとする長方形
- ▶ cのwindow_queryに、 $p \in P$ が含まれていない

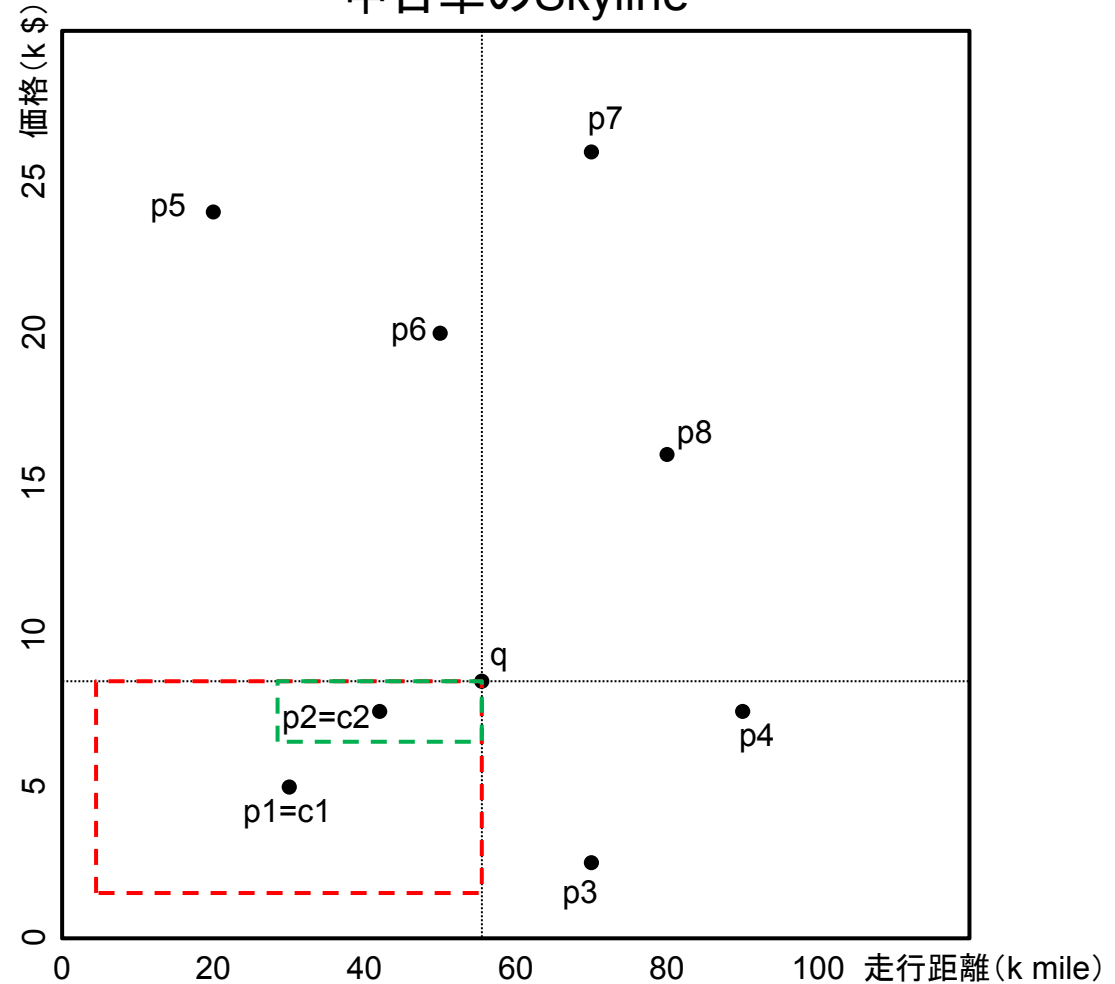
↓

cはこの入力のReverse Skylineに含まれる

▶ 例

- ▶ c2はReverse Skyline
- ▶ c1はちがう

中古車のSkyline



On Answering Why-not Questions in Reverse Skyline Queries

研究の目的

- 自分の中古車をどうにか客に売りたい

背景

- ある客は、その中古車になぜか興味を持ってくれない

対策

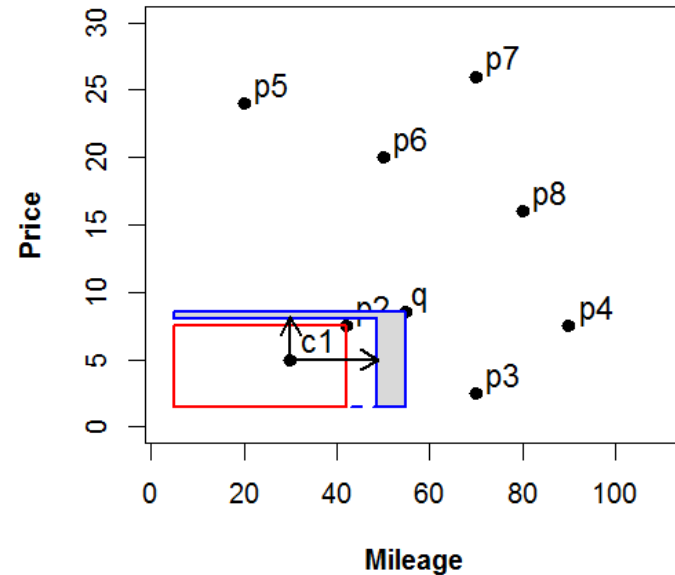
- 客が興味を持ってくれない理由を知る
- 客の好みを変えてしまうと、興味を持ってくれるに違いない
- 中古車を変えると、客が興味を持ってくれるに違いない

例

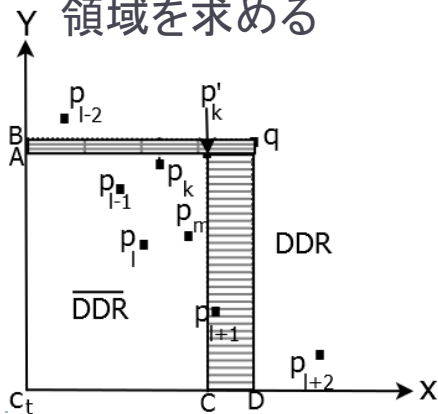
- 客の好み: 価格5,000\$, 走行距離30キロマイル
- 自分の中古車: 価格8,500\$, 走行距離55キロマイル
- ある他の中古車: 価格7,500\$, 走行距離42キロマイル

On Answering Why-not Questions in Reverse Skyline Queries

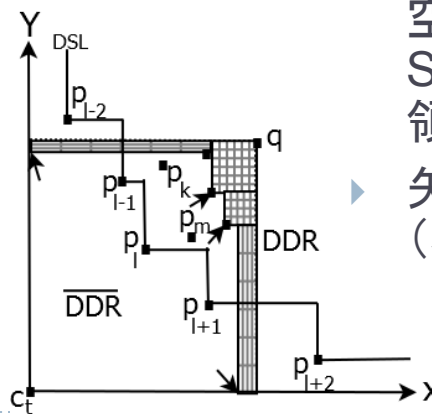
- ▶ (なるべく小さく) 客を変える
 - ▶ 元の好み
 - ▶ 価格5,000\$, 距離30キロマイル
 - ▶ 変更後の好み
 - ▶ 価格5,000\$, 距離48.5キロマイル
 - ▶ 価格8,000\$, 距離30キロマイル



- ▶ p_k に勝てる領域を求める
 - ▶ q に対する c_t の window query に p_k が含まれない領域に c_t があること
 - ▶ p_k と q の中間点 p'_k を基にそのような領域を求める

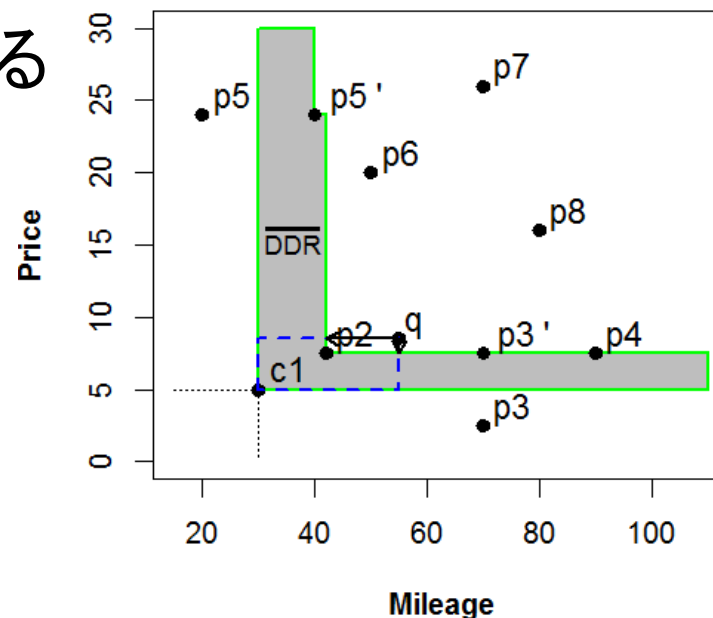


- ▶ c_t の移動候補を求める
 - ▶ q と c_t を頂点とする長方形の空間の点で、 q に対する Skyline の点の全てに勝てる領域を求める
 - ▶ 矢印で表されるような点 (移動量が小さい) 移動候補

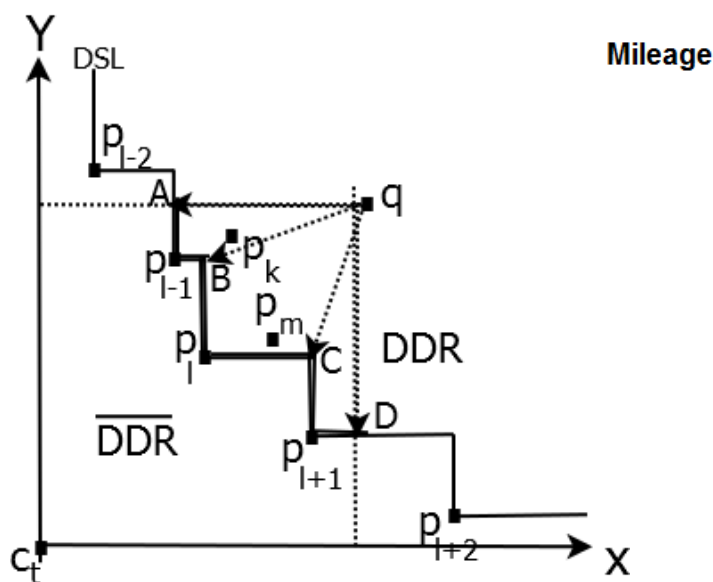


On Answering Why-not Questions in Reverse Skyline Queries

- ▶ (なるべく小さく) 中古車を変える
 - ▶ 元の中古車
 - ▶ 価格8,500\$, 距離55キロマイル
 - ▶ 変更後の中古車
 - ▶ 価格8,500\$, 距離42キロマイル
 - ▶ 価格7,500\$, 距離55キロマイル



- ▶ $\overline{\text{DDR}}$ に移動する
 - ▶ 直感的に、右図



Layered Processing of Skyline-Window-Join (SWJ) Queries using Iteration-Fabric

研究の目的

- 静的なデータではなく、データストリームのwindowにおけるSkyline
- 2本のデータストリームのJOIN

skyline-window-join

提案手法

- JOINしながらSkylineを求める
 - 従来手法では、JOINしてからSkylineする

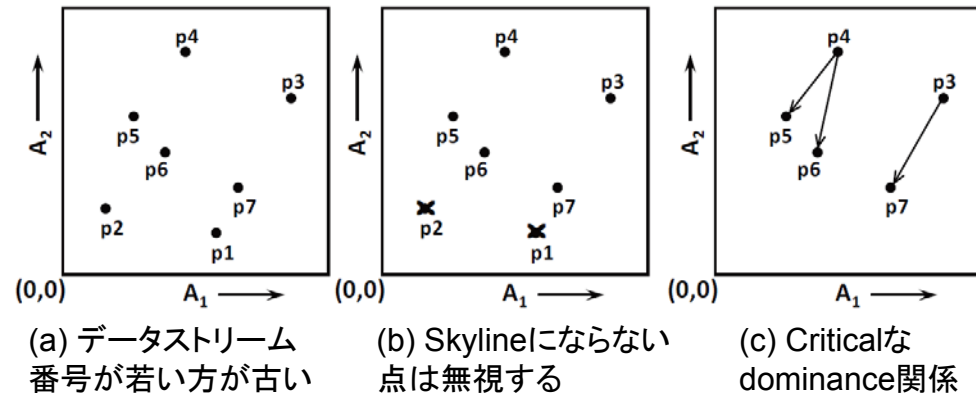
既存手法の組み合わせ

- StabSky: データストリームにおけるSkylineを効率よく求める手法
- Iterative: Skyline-Join (JoinのSkyline)を効率よく求める手法

Layered Processing of Skyline-Window-Join (SWJ) Queries using Iteration-Fabric

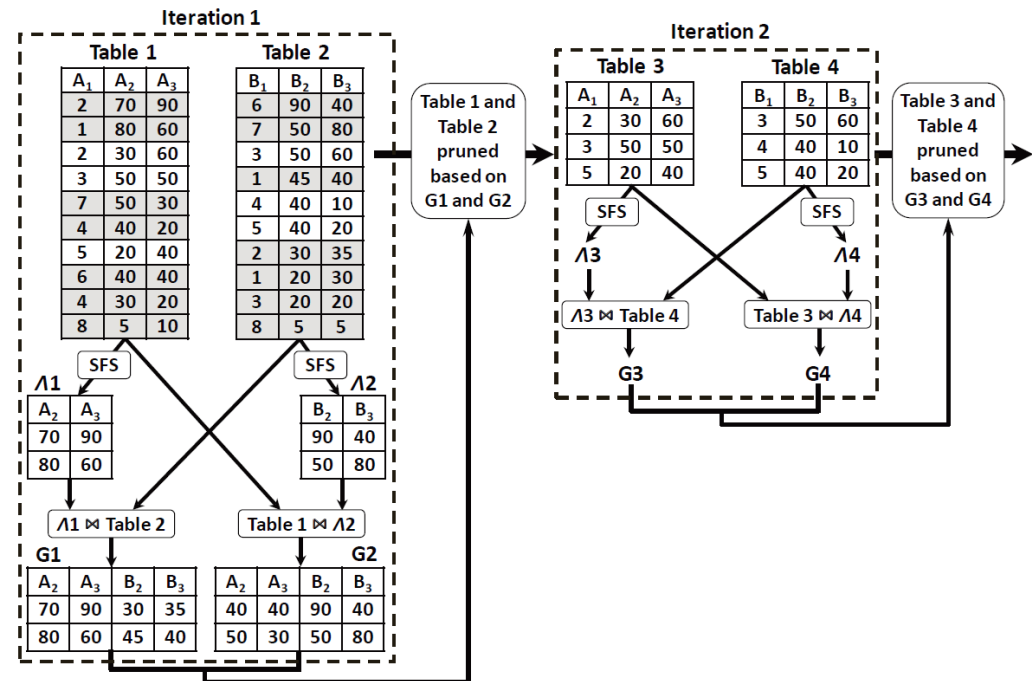
StabSky [ICDE2005]

- データストリームのSkyline
- 右図: A₁, A₂でMAXのSkylineはp3とp4
- (a) データストリームのデータ
- (b) Skylineになり得ない点を無視する
 - p1は、より若いp7にdominateされている
 - p2も同様
- (c) ある点をdominateしている点のうち、より若い点との関係をcriticalとする



Iterative [ICDE workshop 2008]

- JoinのSkylineを求める反復的手法
- 繰り返し処理
 - Λ : 各テーブルのSkyline
 - G: Λ ともう一方のテーブルのJoinを求め、その中でdominateされていないもの
- 枝刈り処理
 - Table3: Table1のタプルのうち、
 - G2でのA1の最低値よりも大きいA1を持つ
 - G2でのA2の最低値よりも大きいA2を持つ
 - Table4: Table2のタプルのうち、
 -



Efficient Snapshot Retrieval over Historical Graph Data

研究の目的

- グラフのための分散データベースシステム

提案手法

- 差分グラフの階層的分散インデックス: DeltaGraph

DeltaGraph

- 各ノードは、グラフを表す
- 下位ノードを組み合わせれば上位ノードが構成される
- 実際に記録されるのは、エッジ (edge deltas) の情報
 - エッジは、ノードの差分を表現

Efficient Snapshot Retrieval over Historical Graph Data

ポイント

- 保存されるのは Δ
- 列ベースで保存 = 分割可能
 - (グラフの) 構造の Δ 、
ノード属性の Δ 、
エッジ属性の Δ 、...

差分関数
Intersection
Skewed
Balanced
...

f(): 差分関数
返値が親ノード
全ての子ノードが引数

葉: 異なる時間の
Snapshot

